

## 糖尿病性腎症重症化予防事業について

## ○ 平成 28 年度事業の結果について

## 1 保健指導について

(1) 参加者 26 人（医療機関数：13 機関）（募集人数：30 人）

◎ 21 人（途中辞退者 5 人）が、6 か月の保健指導を修了

(2) 腎症患者抽出数：689 人（参加医療機関 258 人、市内医療機関 431 人）

(3) 保健指導対象者（募集案内通知者）：258 人（16 機関）

(4) 保健指導推薦者（参加医療機関推薦）：7 人（5 機関）

(5) 参加者の検査値の平均値

【HbA1c(%)】

初回面談	最終面談
7.6	7.3

※ HbA1c（ヘムoglobin A1c）とは

HbA1c 値とは、赤血球中のヘモグロビンのうちどれぐらいの割合が糖と結合しているかを示す検査値です。この値が高いほど高血糖状態にあります。

日本糖尿病学会の糖尿病治療ガイド 2016-2017 では、合併症予防の観点から HbA1c の目標値を 7%未満としています。また、血糖正常化を目指す際の目標値は 6.0 未満、治療強化が困難な際の目標値は 8.0 未満となっています。（いずれも成人に対する目標値）

## 2 継続支援について

(1) 参加者 8 人

◎ 8 人全員が、6 か月の継続支援を修了

(2) 継続支援対象者（募集案内通知者）：33 人

## 3 受診勧奨について

(1) 通知者 166 人

① 医療機関未受診者：146 人

② 医療機関受診中断者：20 人

#### 4 参加者へのアンケート結果

保健指導修了者 21 名に対し、保健指導に関するアンケート調査を実施したところ、17 名の方から回答がありました。アンケート項目・回答内容等については、次のとおりです。

##### (1) 自己管理の状況について

<p>1 体重や血圧を毎日測定し、記録することができる</p> <p>4 3 2 1</p> <p>とてもよく当てはまる 全く当てはまらない</p> <p>10名 7名 0名 0名</p> <p>58.8% 41.2% 0.0% 0.0%</p>
<p>2 指示どおりの服薬（該当者はインスリン注射）ができる</p> <p>4 3 2 1</p> <p>とてもよく当てはまる 全く当てはまらない</p> <p>15名 2名 0名 0名</p> <p>88.2% 11.8% 0.0% 0.0%</p>
<p>3 指導があった食事（の方法）を継続することができる</p> <p>4 3 2 1</p> <p>とてもよく当てはまる 全く当てはまらない</p> <p>5名 11名 1名 0名</p> <p>29.4% 64.7% 5.9% 0.00%</p>
<p>4 指導があった運動（の方法）を継続することができる</p> <p>4 3 2 1</p> <p>とてもよく当てはまる 全く当てはまらない</p> <p>10名 5名 2名 0名</p> <p>58.8% 29.4% 11.8% 0.0%</p>
<p>5 指示どおりの通院をすることができる</p> <p>4 3 2 1</p> <p>とてもよく当てはまる 全く当てはまらない</p> <p>14名 3名 0名 0名</p> <p>82.4% 17.6% 0.0% 0.0%</p>

## (2) 自由記述欄

- グループでの話し合いなどあれば、ぜひ参加したい。
- 自分の体のことなのに、なかなか自己管理ができないため、今回はとても役立った。
- 何年間もヘモグロビンが7、8の状態でした。自分でも6に下げなくてはと思いながらも運動をさぼったり、間食をしたり、自分を甘やかしてきました。主治医から推薦をしていただき、自覚して歩くことや栄養指導を受けながら食事に気を配ったり少しずつ頑張ってきました。10月には体重が3kg減りました。1月の診察時にヘモグロビンが7.1だったのが、2月には6.5に下がりました。主治医や栄養指導者から温かい言葉をかけていただき、うれしかったです。焦らず少しずつ頑張りたいと思います。
- もう少し早く、自分の病気に気が付けばよかったと後悔しております。毎朝晩の体重、血圧の測定は続けていけそうですし、ウォーキングや食事等、指導どおりに努力していきます。
- 自己管理と指導要綱が合致する事項が多く、再確認をすることができ、参加してよかった。
- いろいろとアドバイスをいただき役立った。真剣に自己管理に取り組む必要が身に染みた。
- 記録することにより、体調管理や病気に対する認識ができるようになった。

## ○ 平成 29 年度事業について

平成 26 年度から、市単独事業として埼玉県内の市町村に先駆けて実施してきましたが、平成 28 年度からは埼玉県の共同事業に参加し実施しています。平成 29 年度についても、埼玉県共同事業に参加し実施していきます。

### 1 保健指導について

糖尿病性腎症の病期が 2 期～4 期（初期）で医療機関に通院する患者に対して、腎症の重症化を阻止・遅延するため、生活改善に必要な知識の習得をしてもらうための保健指導の実施。

- 保健指導対象者：271 人（16 機関）のうち、かかりつけ医選定による候補者：73 人（14 機関）
- かかりつけ医推薦者：4 人（3 機関）
- 参加募集案内通知者：77 人（7 月 14 日発送）
- 募集人数：30 人〔募集中〕
- 実施期間：9 月～2 月の 6 か月間

### 2 継続支援について

平成 26・27・28 年度に保健指導を修了した方に対し、改善された生活習慣を維持していただくため、継続した体調、通院及び血液検査結果の確認と自己管理を支援するとともに、修了時のモチベーションを保つことができるよう働きかけ（保健指導）を行います。

継続支援による保健指導は、面談または電話により 3 年間継続して実施します。

- 継続支援対象者（募集案内通知者）：46 人（6 月 23 日発送）
- 実施機関：7 月～1 月の間

### 3 受診勧奨について

特定健康診査の結果から糖尿病の重症化の恐れのあるハイリスク者で、医療機関を受診していない方（未受診者）及びレセプトデータから糖尿病の治療を中断していると思われる方に対し、医療機関への受診勧奨を行います。

- 通知人数：194 人（6 月 23 日発送）
  - 未受診者：176 人
  - 治療中断者：18 人